

令和6年度
大分県立農業大学校
第1回 外部評価委員会



と き:令和6年6月24日(月)
と ころ:農業大学校会議室

次 第

1 開 会

2 外部評価委員紹介

3 学校長あいさつ

4 本校職員紹介

5 議 事 （進行：委員長）

（1）報告事項

令和5年度重点目標等の取り組み結果について

（2）審議事項

令和6年度運営方針を踏まえた数値目標と主な対策について

（3）その他

今後の農業大学校のあり方について

6 閉 会

令和5年度 重点目標と具体的取り組み結果について

運営方針1 活気あふれる学園づくり

【数値目標】 基礎学力を備えた入学生の確保：60名

1 令和6年度入学試験実施状況と合格者数

(1) 推薦入試・一般入試・二次入試

	実施日	受験者数	合格者数
推薦入試	10/18	23名(5名)	21名(5名)
一般入試	12/20	8名(1名)	6名(0名)
二次入試	2/21		
計		31名(6名)	27名(5名)

()内は女子

(2) 過去5年間の受験者数と入学者数

年度	R2	R3	R4	R5	R6
受験者数	45名	42名	33名	42名	31名
入学者数	41名	37名	31名	35名	26名

(3) 過去5年間の農業系学科出身者の入学者数

年度	R2	R3	R4	R5	R6
農業系学科出身	26名	24名	21名	24名	18名
対入学者比(%)	63.4	64.9	75.0	68.5	69.2

2 県内全高校への訪問と農大進学への働きかけ

(1) 県内全高校への学生募集

対象校：公立21校・私立7校 計28校

実施回数：延べ65回

- ・県内高校3年生に農大紹介リーフレット配布、学校、受験案内、進路ガイダンス
オープンキャンパス案内 4年制大学編入試験リーフレット
- ・農大卒業生の就職・就農状況並びに4年生大学編入状況などの情報を提供

(2) 高大連携

中部振興局主催で大分東高校の農学系教諭との意見交換会

(3) 進路ガイダンスへの参加

公立 7 校 14 回実施 (日出総合、三重総合、久住高原農業 (2 回) 玖珠美山 (2 回)、
日田林工、大分東、岡山県立真庭 (ネット参加))
私立 2 校 2 回 (明豊、稲葉学園)

地域ガイダンス 4 回 大分地区 2 回 佐伯地区 1 回
日田地区 1 回

(4) 進路指導担当を対象とした農大説明会

5 月 24 日 農大校、振興局及び高校担当者との連携会議の実施

(5) オープンキャンパス「緑の学園」への参加者拡大

生徒：第 1 回目 (7/1) 27 名 (前年 27 名)

第 2 回目 (7/30) 54 名 (前年 77 名)

計 81 名 (前年 104 名)

保護者・教員：第 1 回 16 名、第 2 回 34 名 計 50 名 (前年 57 名)

総計 131 名 (前年 161 名)

※大学校見学 (個別) 島根 1 名、岡山 1 名、北海道 2 名 (内 1 名外国籍)

宮崎 1 名、佐伯 (日本文理) 1 名 計 6 名

3 情報発信の取り組み

(1) フェイスブックによる情報発信

・FB 記事数 269 フォロワー 967 人 (令和 6 年 3 月末現在)
(対前年：179%) (対前年：109%)

(2) 新聞掲載 12 件

(3) インスタグラムによる情報発信

記事数 329 フォロワー 562 人 (令和 6 年 3 月末現在)

(4) 市町村、JA、JR 等への募集ポスター掲示等依頼

県内 18 市町村役場、JA 27 事業所・支所 金融機関

計 400 枚配布

(5) スタディサプリ「リクルート」

延べ 65 名 (12 月末) の方より学校案内、募集要項の資料請求があった。

5 高大連携の促進

(1) 三重総合高校との連携

・三重総合高校への出前授業派遣 計 5 日間 (2 年生対象)

・農大での実習 1 年生 6 日 2 年生 3 日

- (2) 農業系高校1年生農大体験研修の実施
 - ・ 農業系高校1年生農大体験研修 8校10学科
 - 国東（園芸ビジネス・環境土木）、大分東（園芸ビジネス・園芸デザイン）
 - 日出総合 佐伯豊南、玖珠美山、日田林工、宇佐産業科学 三重総合
- (3) 高校PTAによる農大視察
 - ・ 大分東高校
- (4) 「くじゅうアグリ創生塾」との連携
 - ・ 農業技術実践研修1回（ドローン操作、自動操舵トラクター操作）

評価：目標を未達成 令和6年度入学者数 26名 43.3%

運営方針 2 質の高い教育の提供

【数値目標】 ○日本農業技術検定 3 級相当の専門知識習得者 80%以上

○在学中に 5 個以上の資格取得者 80%以上

- 1 農業技術検定 3 級相当の専門知識習得者 80%以上
 - (1) 農業技術検定試験に向けて、果樹・野菜で補講を実施
令和 5 年度中に新たに資格を取得した学生 2 級 1 名
- 2 在学中に 5 個以上の資格取得をした学生 80%以上
 - (1) 本校学生が受験した免許・資格数 21 種類
免許・資格 5 個以上取得者 20 名（令和 5 年度卒業生）

<参考>

- (1) 試験研究・普及組織との連携によるプロジェクト研究活動
 - ・学生プロジェクトの設計検討、中間検討、成績発表への農林水産研究指導センターの研究者や広域普及指導員の参加による連携

○令和 5 年度九州農業大学校等プロジェクト・意見発表大会出場

佐賀県で開催 プロジェクト発表の部において最優秀賞受賞。

- ・プロジェクト発表の部（2 題）
 - 「ブドウ「シャインマスカット」の長期貯蔵技術の検証」最優秀賞受賞
総合農学科 2 年 飯田 雄仁
 - 「ボディペインティングを利用したサンバエ対策」
総合畜産学科 2 年 徳久 紬希
- ・意見発表の部（1 題）
 - 「自給飼料生産に向けて 私にできること」
総合畜産学科 1 年 衛藤 正和

(2) 農業法人等の期待に応えられる学生の育成

- ・総合経営特別講座の実施
講座：企業経営論、アグリビジネス論、消費者ニーズとマーケティング、
農業簿記、農業経営分析、農村社会学
2 年生 9 名が受講（将来自営を希望する学生）

(3) GAP 手法の習得

- ・水稲、畜産で J-GAP を取得
- ・水田・露地野菜クラスで認証取得の点検手法などのコンサルティングを 2 回実施

(4) その他、学生の資質向上に向けた取組結果

・フラワーデザインコンテストへの参加（第15回めじろんカップへ参加）

大分県知事賞：1年男子、

（公社）日本フラワーデザイナー協会理事長賞：1年女子をそれぞれ受賞。

① 各種免許、資格等取得促進による就農支援

令和5年度農業大学校学生・就農準備研修生免許資格等取得状況

免許・資格等種類	学生	研修生	合計
大型特殊免許（農耕車限定）	30名	21名	51名
けん引免許（同上）	25名	5名	30名
フォークリフト運転技能講習	17名	9名	26名
アーク溶接作業特別	18名	3名	21名
ガス溶接技能講習	12名	3名	15名
ボイラー取扱技能講習	10名	7名	17名
車両系建設機械運転技能講習	15名	1名	16名
小型車輛系建設機械特別教育	16名	12名	28名
土壌医検定試験	名	20名	名

評価：目標を未達成 日本農業技術検定3級以上取得者 34.5%

在学中に5個以上の免許・資格取得者 20名（64.5%）

（令和6年3月末現在）

運営方針 3 新規就農者の確保

【数値目標】 全学生・研修生の進路決定と就農率 80%以上

1 農学部学生進路状況

進路状況（令和6年3月末現在）

	対象者	進路内定	うち就農				JA・公務員	関連企業	進学等	就農率 (%)
			自営	法人等	研修	計				
学生	28	28	2	11	1	14	5	7	2	50.0

農学部過去5年間の就農率 (%)

	R1	R2	R3	R4	R5	平均
就農人数	41	24	33	20	14	26.4
就農率	73.2	75.0	76.7	58.8	50.0	66.7

(2) 就職支援及び進路先の開拓

① 進路コーディネーターによる農業法人との連携強化

学生支援と進路相談の随時実施

- ・ 2年生対象：5月進路面談、随時個別面談
- ・ 1年生対象：11月進路面談、2月三者面談予定

② 農業法人との就職相談会を開催

就職相談会の開催：令和6年5月17日

54団体申し込み 33団体の参加

2 就農・就職支援研修部生進路状況

進路状況（令和6年3月末現在）

	対象者	進路内定	うち就農				他産業	内定率 (%)	就農率 (%)
			自営	法人等	研修	計			
就農準備研修	25	20	17	3		20	0	80.0	80.0

① 振興局・関係団体との連携会の開催（5回）

・ 4月4日 7月4日 9月6日 11月27日 3月5日

② 法人等農家研修（延べ 45 名参加）

- ・ 農家研修（7/10～8/30（随時）：前期 12 農家、18 名研修）
（9/11～12/19（随時）：後期 21 農家、27 名研修）
- ・ 農業法人視察研修(7/4、15 名参加)
上原農園（株）、ウーマンメイク（株）、大分有機かぼす農園（株）、
（株）豊後大野クラスター
- ・ 豊肥地域現地研修会（8/23、24 名参加）
豊後大野市：ピーマン（指導農業士）、竹田市：スタートアップファーム、
荻町：ぶどう農家
- ・ 国東市農業法人巡り（11/17、26 名参加）
- ・ 兵庫県淡路家畜市場・大阪市食肉市場（1/18－19、2 名参加）

③ 農業法人との就職相談会

- ・ 5/17 農業法人就職相談会 （10 名）
- ・ 8/12 就農応援フェア （5 名）

④ 市町との就農相談

- ・ 国東市、豊後大野市・竹田市及び、宇佐市及び振興局、大分市及び振興局
日田市及び振興局、JA と随時就農相談

評価：目標をほぼ達成 進路決定率 90.6%（農学部 100.0% 研修部 80.0%）
就農率 64.2%（農学部 50.0% 研修部 80.0%）

(2) 審議事項

令和6年度 運営方針・数値目標・主な対策

運営方針1 活気あふれる学園づくり

【数値目標】基礎学力を備えた入学生60名の確保

《主な対策》

- 1 高校進路指導および高校生への積極的な働きかけ
 - (1) 農業系高校及び過去5年間に入学実績のあった県内の高校への訪問、情報提供
 - (2) 進路ガイダンス等への積極的な参加による学校説明
 - (3) オープンキャンパス「緑の学園」への参加促進
- 2 高大連携の強化
 - (1) 高校への出前授業や農大体験研修の実施
 - (2) 高校生への農大における課題研究等の紹介
 - (3) 高校PTA研修における農大視察の促進
- 3 多様な人材確保に向けた取り組み
 - (1) 就農相談会等への積極的な参加
 - (2) 情報発信の取組
 - ・SNS (Facebook、Instagram、YouTube) 等での情報発信
 - ・市町村、JA、ファミリーマート等での募集ポスターの掲示

運営方針2 質の高い教育の提供

【数値目標】日本農業技術検定3級相当の専門知識習得者80%以上
在学中に5個以上の資格取得者80%以上

《主な対策》

- 1 農業技術検定取得に向けた取り組み
 - (1) 農業技術検定未取得者に対して模擬試験等の実施
- 2 プロジェクト研究の高度化と地域課題への対応
 - (1) 農林水産研究指導センター・振興局、農業法人との連携プロジェクトの強化、充実
 - (2) 九州大会・全国大会への出場を目指したプロジェクト指導の強化
 - (3) 表現力の向上を目指した作文コンクール等への応募促進

3 農業法人等の期待に応えられる学生の育成

- (1) 農業・農村のリーダー・指導者の育成を目指した「総合経営特別講座」の実施
- (2) 各種資格取得の推進
- (3) G A P手法の実践とG A P認証に向けた学習の実施
- (4) 校内直売所や量販店等でのマーケティング調査の実施
- (5) 先進技術、スマート農業等の先進技術の研修充実

運営方針3 農業の担い手確保

【数値目標】全学生・研修生の就農率80%以上

《主な対策》

1 農学部

- (1) 農業法人等との就職相談会の拡充
- (2) 農業法人等との情報交換および連携強化
- (3) 進路コーディネーターや担任による進路面談、受験指導の充実
- (4) インターンシップ等研修への参加促進
- (5) 保護者の農業視察研修による就農への理解促進
- (6) 卒業生のフォローアップ指導

2 研修部

- (1) 就農に係る講義や先進農家研修による就農意欲の喚起
- (2) 就職・就農相談会等への参加や農業法人等求人情報の提供とマッチングの実施
- (3) 個別面談による研修生の要望や資質に応じた就農コーディネート
- (4) 進路コーディネーターによる就職支援
- (5) 集落営農コースの新設
- (6) 振興局等との連携による就農支援
- (7) 新たな研修生確保のためのSNS等による情報発信

大分県立農業大学校 学校評価要領

平成 23 年 7 月 1 日 制定

(目 的)

第 1 条 この要領は県農業の担い手育成のために求められる質の高い教育を提供するとともに、地域に根ざした開かれた大学校づくりを推進するため、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき、大分県立農業大学校(以下「農大」という。)が行う学校評価について定める。

(自己評価)

第 2 条 農大校長は、教育・研修活動その他学校運営の改善を図るため、毎年度重点目標を定め、その達成に必要な評価項目などを設定の上、運営の状況等についての評価(以下「自己評価」という。)を行う。

2 自己評価を実施するため、別紙 1 に定める学内評価会議を設置する。

(外部評価委員会等)

第 3 条 農大が実施した自己評価の結果を踏まえた評価(以下「外部評価」という。)を行うため、農業大学校外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、校長が委嘱する別表 1 の委員で構成する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。委員に欠員が生じたときは、これを補充することができることとし、その任期は前任者の残任期間とする。

4 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

5 委員長は委員会を掌理し、副委員長は委員長に事故ある場合はその職務を代理する。

6 農大校長は、外部評価等のため農大の運営・教育・研修の状況、自己評価の結果などについて委員会に報告する。

7 委員会は、外部評価の結果を学校運営に関する意見とともに農大校長に報告をする。

8 農大校長は、委員会からの報告をもとに必要な措置を講ずる。

(公 表)

第 4 条 農大校長は、自己評価の結果及び外部評価の結果並びに意見について、農大のホームページなどに公表するとともに、大分県農林水産部新規就業・経営体支援課に報告する。

(その他)

第 5 条 自己評価の実施方法その他学校評価に関することは、農大校長が別に定める。

(別表1)

農業大学校外部評価委員

区 分	関係機関名	職 名
教育関係者	大分県高等学校 教育研究会農業部会	部 会 長
生 産 者	大分県指導農業士会	会 長
〃	大分県農業法人協会	会 長
〃	地元女性農業者	
卒 業 生	大分県立農業大学校同窓会	副 会 長
農業団体	大分県農業協同組合	常務(営農担当)
行 政	豊後大野市	農業振興課長
〃	大分県	中部振興局農山漁村振興部長

平成23年7月 1日 制定

平成24年4月 1日 改正

平成28年4月 1日 改正

平成31年4月26日 改正

(別紙1)

農業大学校外評価委員

区 分	役 職	氏 名
教育関係者	大分県高等学校教育研究会農業部 部会長 大分県立久住高原農業高等学校長	佐藤 智之
生産者	大分県指導農業士会 会長	池永 勝己
生産者	地元女性農業者 大分県指導農業士会 副会長	植木 美和
生産者	大分県農業法人協会 会長	上原 隆生
卒業生	大分県農業大学校同窓会 副会長	湯浅 正徳
農業団体	大分県農業協同組合 営農担当・常務	森本 亨
行政	豊後大野市農業振興課長	赤嶺 繁素
行政	大分県中部振興局農山漁村振興部長	生野 栄城